

海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校
校長室 だより
令和 4 年 6 月 10 日
第5号
文責 校長 柳川 洋史

6月 TOPIX 2年生「正しく持ってつかいこなそう」

栄養職員と担任による「食育」の授業を行いました。

食育は、「生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置づけられるとともに、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」ことを目的としています。

今回のテーマは、正しい「食器の置き方」と「お箸の使い方」です。

日本と韓国との食べるマナーの違い(食べる時に食器をもつか持たないか)を知った時には、

「国が違くとマナー違反になるって不思議だなあ…」

と呟く子も。本当にその通りですね。

続いて食器の置き方の基本を、給食食器の置き方を例にとりて学びました。

「米飯食器はここかな?」「ハンバーグが乗る皿は…?」「みそ汁は…?」と経験をもとに試行錯誤。

「日本では、手でもって食べる食器が手前になるようにします。」

と、原則を教えてもらい、タブレット上で食器を正しい位置に置くことができるようになりました。

お箸の使い方は、持ち方から動かし方まで、栄養職員の解説を聞き、動画視聴しながらの練習でスキルアップ。

次回の給食が楽しみになった2年生でした。



学校給食はいつから始まった?

日々提供されている学校給食。保護者の方も、小学生時代を過ごした地域で食されたのではないのでしょうか。校長室だより「海蔵(あくら)」1号と2号で、教科書無償化、学校制度の始まりについて触れさせていただきましたが、今回は、上記で取り上げた「食育」に関わる「給食」をテーマとします。

日本で一番初めに学校給食をおこなったのは山形県の私立小学校で、貧困児童に対する無償の施しとして 1889 年に実施されたといわれています。

また戦時中にも、栄養不足の児童に対して食事が無料配給されたことがありましたが、国の制度として大規模に学校給食が導入されたのは、終戦後の 1946 年以降のことです。

戦後、深刻な食糧難が広がるなか、育ち盛りの多くの子どもたちは空腹にあえいでいました。

こうした子供たちの栄養状態をなんとか改善しようとして始まったのが学校給食でした。

学校給食のための食糧は、占領軍からの食糧供出や、アメリカの民間救援団体「アジア救済公認団体（通称ララ、LARA : Licensed Agencies for Relief in Asia）」からの援助などでまかなわれました。

1946 年 12 月、都内の学校で初めて実施された学校給食のメニューは、小さきぎまれたダイコン、ニンジン、鮭、マカロニの入ったクリームスープでした。

1947 年 1 月からは、全国の都市部における約 300 万人の児童を対象に、週 2 回以上、ミルク(脱脂粉乳)とトマトシチューなどの学校給食が実施されました。

当時の給食は「補食給食」と呼ばれるもので、米飯などの主食については、各自が自宅から持ってくるようになっていました。

給食費は一食につき一円五〇銭ほどで、これは現在のお金で 15 円～30 円程度にあたります。1947 年当時のランドセル価格が120円程度だったという記録がありますので、かなり高額だったと思われます。その後も戦後物価高の勢いが止まらず、ランドセル価格も1948年に700円、1951年に2000円と急激に上昇した時代でした。因みに2021年は、ランドセル工業会によると購入平均価格56425円だそうです。

日本政府は連合国軍総司令部(GHQ)に給食無償化を提案しましたが、GHQ は、「パンを自らの労働によって得ることを子どもたちに教えるべきだ」と主張して、日本政府の提案を退けたといひます。

その後、1950 年には、主食(コッペパンもしくは米飯)を含む「完全給食」が実施されるようになりましたが、1951 年のサンフランシスコ講和条約調印を受けて、ガリオア(アメリカの占領地域救済資金: Government and Relief in Occupied Areas Fund)による小麦の贈与などが打ち切りになると、学校給食を継続することは困難となりました。給食費の値上がりにより、給食を中止する学校が続出したのです。

この時、危機に陥った給食制度を救ったのは、給食継続を求める国民の声でした。

国民からの声を受けて、給食に対する国庫補助が広がり、1954 年には学校給食法の制定により、給食に明確な法的根拠が与えられるようになりました。

給食に対する国の補助等が法律によって明文化されたことで、学校給食は戦後の日本社会に根付いていくこととなりました。教科書無償化や学校制度と同じように、人々の願いと行動力により、学校給食は実現されてきたのです。

1946 年 12 月 24 日に、アメリカの民間救援団体「ララ」から給食用物資の贈呈式がおこなわれたことを記念して、毎年 12 月 24 日は「学校給食感謝の日」と定められています。

ただし、年末は冬休みと重なるため、現在では、教育効果を促進する観点から、1 か月後の 1 月 24 日から 1 月 30 日までの 1 週間を「学校給食週間」と位置付けて、毎年、全国の小中学校などにおいて、学校給食の意義や食育などをテーマに様々なイベントをおこなっています。



海蔵小学校ホームページ
www.yokkaichi.ed.jp/~kaizo/cms2/htdocs
「海蔵小学校」で検索してください。
スマートフォンでも見ることができます。

“学校のように” のページで、ほぼ毎日、子ども達の様子をお伝えしています。ぜひご覧ください。

“校長室だより” も掲載しています。
PWは「pkaizo」です。